

秘蔵酒 飲み比べ

酒どころ、飛騨市の三つの造り酒屋の味が楽しめる「飛騨三蔵まいり」が11月3日午前10時から、飛騨市古川町壺之町の飛騨古川まつり広場周辺で行われる。「神代」の大坪酒造店(同市神岡町)、「白真弓」の蒲酒造場(同市古川町)、「蓬萊」の渡辺酒造店(同町)のそれぞれの秘蔵酒を味わえる。今年で3回目。

(山田雄大)

飛騨市で来月3日「三蔵まいり」

会場では、チケット付きのおちよこを千円で購入すると、三つの酒蔵で普段は販売していない秘蔵酒を2杯ずつ計6杯飲むことができる。また、3銘柄をブレンドした珍しい限定酒も販売。5555本限定で1本1800円。ブレンド酒について、渡辺酒造店の渡邊久憲社長は「蓬萊のフルーティーな香り、神代の米のうまみを感じられる味わい、白真弓のすっきりとしたキレの良さを楽しんでいただける」と太鼓判を押す。

また、酒に合うおつまみを販売する「おつまみマルシェ」には、地元商店をはじめ、輪島朝市や富山県から干物や魚介類を販売する店舗が軒を連ねる。酒プリン、酒まんじゅう、酒天ぷらまんじゅうといった

神代、白真弓、蓬萊「個性楽しんで」



自慢の銘柄と限定ブレンド酒をPRする各蔵の代表者＝飛騨市古川町壺之町

特製スイーツの販売、酒蔵コンサートなども催される。

大坪酒造店の大坪和巳社長、蒲酒造場の蒲敦子社長、渡邊社長が、飛騨市古川町の瀬戸川沿いで会を開き、「飛騨と酒は切っても切れない関係。個性の違う三蔵がそろったにない機会なので、ぜひ来てほしい」とPRした。